

第5章 人材育成、地域間交流、教養文化活動などの活動に関する事項

本地域の基本目標である、環境にやさしい産業の創出と、豊かな自然環境を活用した「複合交流都市」を創造し、大館能代空港の活用と日本海沿岸東北自動車道の早期整備により、各地域の多彩な自然資源を活用した、観光リゾート地としての「北東北の観光拠点交流エリア」の形成を目指すにあたり、人材育成、地域間交流、教養文化活動及び観光の振興などを推進する。

5. 1 人材育成

人材の育成確保については、拠点都市地域の振興を推進するため、各分野の指導者の育成と高齢者の社会参加の促進を図るため、生涯学習活動などの推進により、高齢者の生きがい対策の充実を図り、人材の育成確保を進める。

5. 2 地域間交流

地域間交流については、平成19年開催の秋田わか杉国体を契機に、スポーツ・レクリエーション、イベント、文化活動等を通じた地域内交流や地域外の各都市との交流を多方面で推進する。

国際交流については、教育・文化面での積極的な交流を推進する。

5. 3 教養文化活動

教養文化活動については、地域の活動団体、文化団体などの取り組みを支援し、大館市の曲げわっぱ、北秋田市の大太鼓、能代市の春慶塗、鹿角市の縄文遺跡等のほか、地区伝統芸能など伝統遺跡文化を永く後世に継承する。

また、各地区文化施設の情報ネットワークづくりを推進し、伝統芸能フェスティバルの開催などにより、伝統文化の保存と伝承支援を行う。

5. 4 観光振興

観光振興については、世界遺産をはじめとする優れた自然景観、温泉、歴史遺産、特産品、工芸品など豊富な観光資源を活用し、広域的な観光を推進し、各地区の施設の連携により、産業としての観光の充実を図る。

また、大館能代空港の開港以来、観光客の回遊性が高まってきていることから、日本海沿岸東北自動車道の早期全線開通とアクセス道等の整備により、北東北の観光拠点として、広域的な連携による観光振興を推進する。